

第2次総合計画事業

政策2

豊かな心を育むまちづくり



小学校施設整備事業（掛田小学校耐震改修事業）

担当課 教育総務課

4 億 2,364 万円

【事業概要】

耐震性能が不足し、老朽化が著しい掛田小学校の耐震化および施設の長寿命化のため、耐震補強・大規模改修工事を実施します。（平成32年7月完了予定）

財源（万円）

市の負担
3 億 4,129

国・県の負担
8,235

【実施内容】

- 耐震補強・大規模改修工事
校舎 2 棟、屋内運動場
- 耐震補強・大規模改修工事監理業務など

【前年度実績】

- 耐震補強・大規模改修工事
校舎 2 棟、屋内運動場
- 耐震補強・大規模改修工事監理業務など



掛田小学校外観と耐震補強改修が完了した教室

伊達小学校改築事業

担当課 教育総務課

1 億 1,657 万円

【事業概要】

老朽化した校舎および屋内運動場などの教育環境を改善し、必要な面積を確保するため、伊達小学校の改築工事を実施します。

財源（万円）

市の負担
1 億 1,657

【実施内容】

- 敷地測量業務
- 敷地造成工事設計業務
- 旧伊達幼稚園解体工事など

【前年度実績】

- 基本設計
- 実施設計
- 地質調査業務など



伊達小学校校舎

小学校施設維持管理事業

担当課 教育総務課

1 億 944 万円

財源（万円）

市の負担
1 億 944

【事業概要】

小学校21施設（廃校6校含）の営繕、施設管理業務委託、その他施設備品の管理などの事業を総合的かつ効果的に執行します。

【実施内容】

- 水泳プールろ過装置改修工事（栗野小学校、柱沢小学校）
- 機械警備業務など

【前年度実績】

- 栗野小学校プールフェンス等更新工事
- 小学校ブロック塀撤去およびフェンス等新設工事など

中学校施設維持管理事業

担当課 教育総務課

3,134 万円

財源（万円）

市の負担
3,134

【事業概要】

中学校6施設の営繕、施設管理業務、その他施設の更新などにより、生徒たちの教育環境改善を図り安心安全な施設にします。

【実施内容】

- 中学校防火設備定期報告業務
- 機械警備業務など

【前年度実績】

- 霊山中学校屋根塗装改修工事など

教育相談事業

担当課 学校教育課

2,296 万円

財源（万円）

市の負担
712

国・県の負担
1,584

【事業概要】

不登校やいじめをはじめとする生徒指導上の様々な課題解決を図るため、各分野の専門員を配置します。

【実施内容】

- 心理学の専門職であるスクールカウンセラーの教育相談などにより、児童生徒の心の問題の解決を図ります。
- 福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの教育相談などにより児童生徒の置かれている環境に働きかけ、改善を図ります。
- 適応指導教室「あおば教室」の通級により、個に応じた学習を行い、学校への復帰を図ります。

【前年度実績】

- スクールカウンセラー18人を配置
- スクールソーシャルワーカー3人を配置
- 適応指導教室「あおば教室」に指導員5人を配置

学校図書館機能活性化事業

担当課 学校教育課

1,781 万円

財源（万円）

市の負担
1,781

【事業概要】

学校図書館の「読書センター」、「情報センター」、「学習センター」の3つの機能の充実を図り、児童生徒の感性や想像力を豊かにするとともに、知的好奇心を育み、自ら調べる態度を育成する読書活動を推進します。

【実施内容】

- 学校図書館、読書活動推進に関する専門的な知識・技能を有する7人の学校司書を6つの中学校区に各1～2人配置します。
- 学校司書は、本の貸出業務、児童生徒の調べ学習に役立つ資料の整備、授業の補助、読みかせ等の充実を図ります。

【前年度実績】

- 図書の読み聞かせや必読書コーナーの設置など、22校全ての学校で多様な読書活動が展開されました。
- 学校司書が全ての小・中学校を巡回し、学校図書館を整備した結果、県「読書に関する調査」においては、一人あたりの1カ月の読書冊数が、小学校では3つの学年、中学校では2つの学年で増加しました。
- 定期的に「学校司書等活用連絡会」を開催したことで、各学校司書の取り組み状況について意見交換ができ、学校司書の資質向上が図られました。

小中連携学力向上推進事業

担当課 学校教育課

558 万円

財源（万円）

市の負担
558

【事業概要】

小中学校の児童生徒の知識や技能の習得と、思考力や判断力、表現力そして学習意欲などを育成し、「確かな学力」の向上を図ります。

【実施内容】

- 6つの中学校区ごとに、小・中学校が密接に連携して、児童生徒の学力向上や生徒指導に取り組みます。
- 学力の実態を分析し、学習指導の改善に資するために、小学校1年生から中学校2年生を対象に学力調査を実施します。

【前年度実績】

- 中学校区ごとに研究推進委員会を組織し、地域の実態に応じて、義務教育9年間を見通した授業づくりや生徒指導などの取り組みを充実させました。
- 全国学力・学習状況調査では、小学校では国語、算数の学力が向上し、全国平均を大きく上回る結果を残しました。中学校では国語、数学とも3年前に比べ、徐々に全国平均に近づいています。

生涯学習指導員配置事業

担当課 生涯学習課

1,031 万円

財源（万円）

市の負担
1,031

【事業概要】

教育委員会地域自治組織などで実施する社会教育事業・生涯学習事業全般にわたり、事業の実施や支援を行うため、知識や経験を有する生涯学習指導員を配置します。

【実施内容】

- 教育委員会主催事業の企画・運営
- 地域自治組織等が行っている、生涯学習事業への支援・助言

【前年度実績】

生涯学習指導員 5人配置

スポーツ振興事業

担当課 生涯学習課

1,488 万円

財源（万円）

市の負担
1,488

【事業概要】

市民がいつでもどこでもスポーツに親しむ環境づくりを進めるため、総合型地域スポーツクラブの設立を目指します。また、嘱託職員（スポーツコーディネーター）を配置し、各関係機関との連携・調整を図ります。

【実施内容】

- 伊達市スポーツ推進審議会の開催
- スポーツクラブ先進地視察の実施
- 市町村対抗伊達市代表チームへの支援

【前年度実績】

- 市町村対抗伊達市代表チームへの支援
- スポーツクラブ設立に向けた各種研修会への参加

スポーツ施設指定管理事業

担当課 生涯学習課

1 億 5,486 万円

財源（万円）

市の負担
1 億 5,486

【事業概要】

社会体育施設の管理に指定管理者制度を導入し、効率的な管理・運営を行うことにより、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを行います。

【実施内容】

一般財団法人伊達市スポーツ振興公社を指定管理者として、市内16カ所の社会体育施設の管理運営を行います。

【前年度実績】

- 市内16カ所の社会体育施設の管理運営

体育施設維持管理事業

担当課 生涯学習課

752 万円

財源（万円）	市の負担
	752

【事業概要】

市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、社会体育施設の維持管理を行います。

【実施内容】

- 社会体育施設の維持管理（10万円以上の修繕・工事など）
- その他スポーツ施設（伊達東グラウンドなど）の維持管理
- 伊達テニスコート改修工事設計委託

【前年度実績】

- 梁川プール循環・排水管漏水修繕
- 月館運動場門扉改修工事
- 梁川体育館高圧気中開閉器等更新工事

家庭教育支援事業

担当課 生涯学習課

41 万円

財源（万円）	市の負担
	41

【事業概要】

子どもの健全な成長に果たす親の役割について学習し、親の自覚と家庭教育の重要性を認識することを目的に幼稚園・保育園・小学校の園児・児童の保護者を対象に研修会を開催します。

【実施内容】

各小学校で実施されている就学時健診や小学校・幼稚園・保育園での参観日、PTA等の事業実施時に併せて家庭教育・子育てに関する研修の場を提供します。

【前年度実績】

- 参加者数 延べ1,529人（20講座）

図書館運営事業

担当課 生涯学習課

1,724 万円

【事業概要】

一般図書・児童図書・郷土資料やCD・DVDなどの貸出、図書資料の閲覧、図書資料複写サービスなど、多くの方々が利用しやすい市民の憩いの場としての図書館づくりをします。

また、各地域の図書館読書ボランティアや小中学校と連携を図りながら、子どもの読書活動推進の強化に努めます。

【前年度実績】

【市立図書館・中央交流館図書室の状況】（平成30年4月1日～平成31年1月31日）

施設名	蔵書冊数（一般書）	蔵書冊数（児童書）	貸出冊数	利用者数
市立図書館	62,166	34,102	101,030	95,206
保原中央交流館図書室	21,505	12,169	15,692	8,800
梁川中央交流館図書室	8,886	6,210	2,875	(入館者数計測機を設置していない)
霊山中央交流館図書室	7,405	7,156	1,291	
月館中央交流館図書室	3,788	4,494	1,308	
合 計	103,750	64,131	122,196	

財源（万円）	市の負担	その他（使用料等）
	1,721	3

【実施内容】

- おすすめの本やテーマを決めた本の展示
- 夏休み・冬休み子ども映画会の開催
- 読み聞かせ
- 見学や中学生職場体験の受入

学校給食センター運営事業

担当課 学校給食センター

5 億 4,682 万円

【事業概要】

「食の現場から食育の現場へ、安心・安全でおいしい給食をお届けします」を年間テーマに、小中学校、幼稚園の児童生徒の健全な発達のため、安心・安全な食材を使い、バランスの取れた給食を提供します。

【実施内容】

○年間平均実施日数

小学校186日、中学校182日、幼稚園150日

1日当たり伊達学校給食センター1,000食、中央給食センター3,800食の給食を提供します。（実施日数は学校によって異なります。）

○保護者の皆さんからお預かりした給食費は、全額給食材料費に使われます。

○給食提供にかかる管理運営費（人件費、衛生費、光熱水費、修繕費など）は市が負担します。

【前年度実績】

○年間平均実施数

小学校185日、中学校181日、幼稚園135日

1日当たり伊達学校給食センター1,015食、中央給食センター3,914食の給食を提供

財源（万円）

市の負担
2 億 9,642

その他(給食費)
2 億 5,040



平成 30 年 8 月から稼働した中央給食センター



学校給食の様子

美術館自主文化事業

担当課 生涯学習課

265 万円

【事業概要】

優れた芸術作品に親しんでもらうため、梁川美術館において自主企画展を行います。また、講師を招いてのワークショップを開催します。

【実施内容】

○画家・橋本広喜墨彩展

○絵本作家・村上康成展

○福島県のオリンピック・三浦弥平と円谷幸吉展

○有名漫画家等が絵付け、震災復興・起き上がりこぼし展

○ふくしま緑の写真展

○世界児童画展

○NHK福島の桜フォトコンテスト写真展

【前年度実績】

○自主企画展開催回数 8 回（111 日）

○自主企画展入館者数 7,698 人

財源（万円）

市の負担
95

その他(入館料)
170



企画展ギャラリートーク

歴史資料館管理運営事業

担当課 生涯学習課

1,350 万円

【事業概要】

企画展や各種講座などを開催し伊達市の歴史や文化を分かりやすく紹介します。また旧亀岡家住宅をはじめ貴重な文化財や資料を適切に保存し後世へ伝えていきます。

【実施内容】

- 企画展の実施
 - ・詩人「長谷部俊一郎」展（仮称）
 - ・「明治の到来と伊達の蚕種業」展（仮称）
 - ・「中世都市梁川と伊達氏館」展（仮称）
- ワークショップや資料館祭りの開催
- 郷土史講座や古文書講座の開催
- 国重文「旧亀岡家住宅」の維持管理

【前年度実績】

- 企画展の実施
 - ・北畠顕家卿生誕700年記念「北畠顕家と幻の陸奥国府」
- ワークショップや資料館祭りの開催

財源（万円）	市の負担	その他（入館料・雑入）
	1,230	120

- 郷土史講座や古文書講座の開催
- 国重文「旧亀岡家住宅」の維持管理



秋の資料館まつりでの餅つき体験

美術館管理運営事業

担当課 生涯学習課

1,440 万円

【事業概要】

市民が芸術文化を身近に感じるとともに、自主的な活動に取り組めるよう、梁川美術館の管理運営を行います。

【実施内容】

- 1階：梁川出身の彫刻家・太田良平の作品を中心とした常設展示
- 2階：市民ギャラリー
（自主企画展や市民の作品発表等に利用）

【前年度実績】

- 入館者数 常設展示 2,570人
市民ギャラリー 10,165人
- 市民ギャラリーの貸出 12回

財源（万円）	市の負担	その他（使用料、入館料）
	1,391	49



常設展示の作品

担当課 こども支援課

489 万円

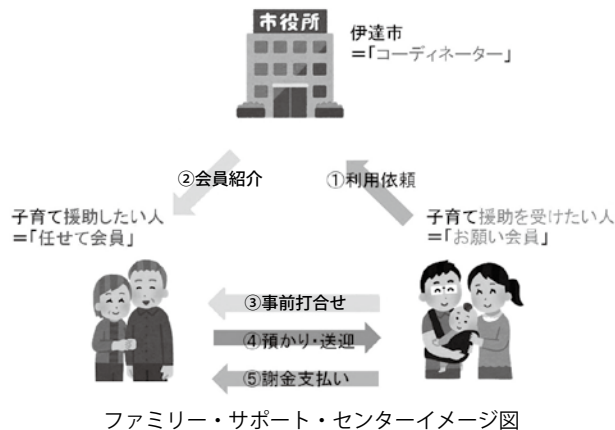
【事業概要】

子どもの預かりや送迎を住民同士で助け合う仕組みづくりにより、地域の子育て機能の充実や子育て世帯の負担軽減を図ります。

【実施内容】

- ファミリーサポートセンターを立ち上げ、子育てを援助したい方＝「任せて会員」と、子育てを援助してほしい方＝「お願い会員」のマッチングを行います。
- 事業説明会を開催し、事業内容の周知や会員数の確保を図ります。
- 「任せて会員」を対象に研修会を開催し、援助活動における子どもの安全確保や信頼関係の構築などについてスキルアップを図ります。

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	225	264



幼児発達支援事業

担当課 こども支援課

1,382 万円

【事業概要】

発達が気になる幼児や発達に障がいのある幼児と保護者に対し、相談や支援を行います。また、話し言葉が気になる幼児に対し、発音改善のための言語指導や相談を行います。

【実施内容】

- 発達に関する相談サポート
 - ・発達に関する相談
 - ・子育てに関する相談
 - ・小集団支援と親コースによる支援
 - ・臨床心理士相談
 - ・就学に関する相談
 - ・学校、事業所等見学同行サポート
 - ・サポートブック「ハーモニー」作成支援
- 話しこことが気になる幼児の相談・指導
 - ・ある音が別の音に聞こえる
 - ・ことばがはっきりと聞こえない
 - ・話し始めの音がでにくい など

【前年度実績】

- 相談人数 177人（平成31年1月末現在）

財源（万円）	市の負担
	1,382

- 相談・支援延べ件数：182件
- 言語指導延べ件数：371件
- 小集団支援参加者数
 - ・3歳児コース（8回）38組
 - ・4・5歳児コース（3コース×8回）139組
 - ・親コース参加者数（8回）28人（平成31年1月末現在）
- 臨床心理士相談会
 - 年間11日（22時間）



サポートブック「ハーモニー」

ひとり親家庭自立支援給付事業

担当課 こども支援課 **180 万円**

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	45	135

【事業概要】

ひとり親家庭の自立を目的とした就業支援として、就業に必要な資格取得に係る経費の一部を給付します。

【実施内容】

- 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金
 - ・受講終了時給付金 対象費用の20%
 - ・合格時給付金（受講終了時給付金と併せた上限15万円）
- 自立支援教育訓練給付金
 - ・対象講座：雇用保険制度の教育訓練給付の指定訓練講座
 - ・受講終了時給付金 対象費用の60%（1万2千円以上20万円まで）
- 高等職業訓練促進費
 - ・対象資格：看護師（准看護師）・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・美容師・社会福祉士・製菓衛生師・調理師
 - ・訓練促進費（月額）7万500円～10万円
 - ・修了一時金 2万5,000円～5万円

児童虐待等相談事業

担当課 こども支援課 **1,028 万円**

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	964	64

【事業概要】

家庭や学校における子どもの適正な教育および、その他家庭児童福祉の向上を図ります。また、児童生徒のいじめや不登校、保護者等による虐待等の防止に向け、学校や関係機関と連携して問題を抱える子どもの相談支援を行います。

【実施内容】

- こども相談員4人を配置し、相談支援業務を行います。また、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、児童虐待を未然に防ぐ取り組みを進めます。

【前年度実績】

- 相談件数 86件（平成31年1月末現在）

障がい児通所支援事業

担当課 こども支援課 **1 億 9,722 万円**

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	5,180	1 億 4,542

【事業概要】

障害者自立支援法に基づき、障がい児が地域において障がい児通所支援のサービスを受けるにあたっての給付事業や、支援に必要なサポートブックを提供します。

【実施内容】

- 通所受給者証の交付
- 障害児通所給付費および障害児相談支援給付費の支給
 - ・対象者：身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）のため、通所による支援等を必要とする児童。
 - ・対象サービス ①児童発達支援
②医療型児童発達支援
③放課後等デイサービス
④保育所等訪問支援
⑤障害児相談支援
 - ・利用者負担 原則1割
（課税状況に応じて上限額が設定）

【前年度実績】

- 通所受給者証交付件数：223件
（平成31年1月末現在）

保原認定こども園整備事業

担当課 こども支援課 **4,210 万円**

財源（万円）	市の負担
	4,210

【事業概要】

現保原幼稚園園舎は老朽化が進んでいるため、新たに保原認定こども園を整備します。なお、開園は平成34年4月を目指します。

【実施内容】

- 民間事業者が建設する園舎の建設費用等に対する補助金交付

認定こども園維持管理事業、認定こども園運営費負担金事務

担当課 こども育成課

9 億 726 万円

【事業概要】

幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設の特色を活かし、総合的に質の高い教育および保育を提供します。

【実施内容】

- 開園時間 7時～19時
- 保育時間 保育標準時間 7時～18時
保育短時間 8時～16時
教育標準時間 8時15分～13時30分
(園により実施時間が少し異なります)
- ※上記以外でも、開園時間内での延長保育(教育標準時間は預かり保育)を利用することができます。
- ※保育標準時間と保育短時間とは「保育を必要とする事由」により区分されます。
- 伊達市独自の子育て支援
平成29年度より2号認定(3歳以上保育認定)の保育料の上限を3万3,000円から1万9,000円に引き下げています。
- 私立認定こども園に対する補助
利用定員や入所児童数に応じ、国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立認定こども園に対し、補助金を交付しています。

財源(万円)

市の負担	国・県の負担	その他
4 億 1,697	4 億 4,828	4,201

【前年度実績】

- 認定こども園施設数 公立2園、私立5園 計7園
- 0～5歳児 1,015人利用(平成31年3月1日現在)



各認定こども園の子どもたちの様子

保原保育園運営維持管理事業、保育所運営費負担金事務、私立保育園補助金交付事業

担当課 こども育成課

4 億 4,564 万円

【事業概要】

就労している保護者に代わって、家庭と連携を取りながら養育の補完と教育を行うことで、子どもの最善の利益を図ります。

【実施内容】

- 開園時間 7時～19時
- 保育時間 保育標準時間 7時～18時
保育短時間 8時～16時
- ※上記以外でも、開園時間内での延長保育を利用することができます。
- ※保育標準時間と保育短時間とは「保育を必要とする事由」により区分されます。
- 伊達市独自の子育て支援
平成29年度より2号認定(3歳以上保育認定)の保育料の上限を3万3,000円から1万9,000円に引き下げています。
- 私立保育園に対する補助
利用定員や入所児童数に応じ、国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立保育園に補助金を交付しています。

財源(万円)

市の負担	国・県の負担	その他(保育料など)
1 億 7,529	1 億 8,893	8,142

【前年度実績】

- 保育園施設数 公立1園、私立3園 計4園
- 0～5歳児 407人が利用(平成31年3月1日現在)



保原保育園の子どもたちの様子

幼稚園管理運営事務、幼稚園預かり保育事業、私立幼稚園運営費負担金事務

担当課 こども育成課

1 億 1,349 万円

【事業概要】

市内の幼稚園の教育環境を整備し、「3歳からの幼児教育」の充実を図ります。

【実施内容】

- 開園時間 7時15分～19時
- 教育時間 教育標準時間 8時15分～13時30分
(園により実施時間が少し異なります)
※教育標準時間以外で希望する場合は、開園時間内での預かり保育を利用することができます。
- 伊達市独自の子育て支援
平成27年度から1号認定(3歳以上教育認定)のお子さんの保育料の上限を私立園も含めて一律5,700円に設定し、子育て支援に力を入れています。
- 私立幼稚園に対する補助
利用定員や入所児童数に応じて国の基準により運営費を支給します。また、特別保育事業に取り組んでいる私立幼稚園に対し、補助金を交付します。

財源 (万円)

市の負担	国・県の負担	その他(保育料)
9,343	1,401	605

【前年度実績】

- 幼稚園施設数 公立5園、私立1園 計6園
- 3～5歳児 241人が利用(平成31年3月1日現在)



各園の子どもたちの様子

放課後児童健全育成事業、民営放課後児童クラブ活動支援事業

担当課 こども育成課

1 億 7,298 万円

【事業概要】

保護者が仕事などで家庭にいない小学生を対象に、放課後などの時間を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができる場を提供します。

【実施内容】

- 市内11カ所に公立児童クラブを開設します。
併せて、子どもたちがクラブでの生活を通して健やかに成長できるように、専門的な知識を有する民間事業者遊びのプログラム実践と、特別支援児童巡回指導業務を委託し、児童クラブ運営をより充実させています。
- 民間の児童クラブ運営事業者に対して、運営費補助金を交付します。

【前年度実績】

- 公立放課後児童クラブ 11カ所 698人登録
(平成31年3月1日現在)
- 民間放課後児童クラブ 2カ所 41人登録
(平成31年3月1日現在)

財源 (万円)

市の負担	国・県の負担	その他(保育料)
5,795	8,686	2,817



各児童クラブの活動写真

放課後児童クラブ建設事業

担当課 こども育成課

2,254 万円

財源（万円）

市の負担
2,254

【事業概要】

伊達小学校児童の放課後の安全・安心な居場所として、「だて児童クラブ」を開設し、子どもたちの育成と支援を行います。

年々利用児童が増加していて、近年は定員を超える登録があり、今後さらに増加することが見込まれるため、児童クラブ施設の改築を進めます。

【実施内容】

- 実施設計 平成31年3月着手
- 平成32～33年度 建設工事
- 平成33年度中 児童クラブ開所



だて児童クラブ 学習の様子